

中央大学 2026 年度特別入試 【解答・解答例】

試験方式	自己推薦入試【外国語型】
学部（学科/専攻）	文学部
科目	外国語（英語）

※本件についての質問・照会には、個別に回答することはいたしません。

※公開する解答・解答例には、別解がある場合があります。

【解答・解答例】

- Q1. 1
- Q2. 1
- Q3. 4
- Q4. 2
- Q5. 1
- Q6. 1
- Q7. 3
- Q8. 2
- Q9. 3
- Q10. 2

以上

中央大学 2026 年度特別入試 【評価の視点】

試験方式	自己推薦入試【外国語型】
学部（学科/専攻）	文学部（国文学専攻）
科目	面接

※本件についての質問・照会には、個別に回答することはいたしません。

※公開する内容については、別解がある場合があります。

※①試験問題、②解答又は解答例、③出題の意図の要素を含むものとして「評価の視点」を公表します。

【評価の視点】

専門分野に対する理解度、論理的な意見の開陳、質問に対する適切な応答の観点から評価する。

中央大学 2026 年度特別入試 【評価の視点】

試験方式	自己推薦入試【外国語型】
学部（学科/専攻）	文学部（英語文学文化専攻）
科目	面接

※本件についての質問・照会には、個別に回答することはいたしません。

※公開する内容については、別解がある場合があります。

※①試験問題、②解答又は解答例、③出題の意図の要素を含むものとして「評価の視点」を公表します。

【評価の視点】

大学進学を志す高校生にとって身近な話題や知っておくべき話題について、自分の意見を具体的かつ説得的・論理的に述べているか等の視点から評価する。

中央大学 2026 年度特別入試 【評価の視点】

試験方式	自己推薦入試【外国語型】
学部（学科/専攻）	文学部（ドイツ語文学文化専攻）
科目	面接

※本件についての質問・照会には、個別に回答することはいたしません。

※公開する内容については、別解がある場合があります。

※①試験問題、②解答又は解答例、③出題の意図の要素を含むものとして「評価の視点」を公表します。

【評価の視点】

中央大学文学部は、公式ウェブサイトで「専攻・プログラムにおいて養成する人材像」を公開している。ドイツ語文学文化専攻がいかなる人材を養成したいかは、次のように記した。

「ドイツ語文学文化専攻では、学術言語としてのドイツ語の力を身に付け、活用しながら、ドイツ語圏の言語・文学・文化・歴史の各分野に関する専門の学びを深めることを教育目標としています。4年間の学びを通して、広範かつ専門的な知識・方法と実践的な経験知を身に付け、グローバルな社会や文化の多様性を理解し国際交流に貢献できる人材を養成します。」

面接試験においては、このような教育を受けてこのような人材になろう、という意欲があるかを評価する。

中央大学 2026 年度特別入試 【解答・解答例】

試験方式	自己推薦入試【外国語型】
学部（学科/専攻）	文学部（フランス語文学文化専攻）
科目	外国語（フランス語）

※本件についての質問・照会には、個別に回答することはいたしません。

※公開する解答・解答例には、別解がある場合があります。

【解答・解答例】

1. De quoi parle ce texte ? (10 points)

(解答)

D'après ce texte, le temps consacré à la lecture chez les grands adolescents entre 16 et 19 ans recule assez fortement.

2. VRAI ou FAUX ? (15 points).

D'après ce texte… :

a) Les jeunes Français lisent de moins en moins.

(解答) Vrai

b) Les jeunes Français lisent de plus en plus.

(解答) Faux

c) Une majorité de jeunes Français ne lisent plus.

(解答) Faux

3. Qu'est-ce que les jeunes Français aiment lire ? Citez les trois lectures préférées des jeunes Français (15 points).

(解答)

Ils aiment lire des bandes dessinées, des mangas et des romans d'aventure.

4. Selon le texte, quelle est la raison principale de cette diminution de la lecture chez les jeunes Français ? (10 points)

(解答)

La raison principale est l'utilisation des « téléphones intelligents », c'est-à-dire des smartphones.

5. Et vous ?

(解答者自身について記述する問題なので、解答例はない)

中央大学 2026 年度特別入試 【評価の視点】

試験方式	自己推薦入試【外国語型】
学部（学科/専攻）	文学部（フランス語文学文化専攻）
科目	面接

※本件についての質問・照会には、個別に回答することはいたしません。

※公開する内容については、別解がある場合があります。

※①試験問題、②解答又は解答例、③出題の意図の要素を含むものとして「評価の視点」を公表します。

【評価の視点】

以下の観点に基づいて、評価をおこなう。

- 1：フランス語の出題内容について、適切なフランス語を用いて、振り返ることができるか。
- 2：面接委員とのフランス語のやりとりが適切におこなえるか。
- 3：申請書類における記入内容について、フランス語に言い換えながら、十分に説明することができるか。
- 4：豊かな知的好奇心と積極的な学習意欲をもって、大学での学習にのぞもうとしているか。

中央大学 2026 年度特別入試 【評価の視点】

試験方式	自己推薦入試【専攻適性型】
学部（学科/専攻）	文学部（フランス語文学文化専攻）
科目	面接

※本件についての質問・照会には、個別に回答することはいたしません。

※公開する内容については、別解がある場合があります。

※①試験問題、②解答又は解答例、③出題の意図の要素を含むものとして「評価の視点」を公表します。

【評価の視点】

面接試験では、受験者の以下の能力や姿勢を確かめる。

1. これまでの美術館における体験内容とそこから得たものを言語化する能力
2. 美術館や美術作品への自発的かつ日常的な関心
3. 美術館への積極的な問題意識と、美術作品への感性
4. コミュニケーションの姿勢
5. 大学での学修意欲と、学びを通じた将来の目標

中央大学 2026 年度特別入試 【評価の視点】

試験方式	自己推薦入試【専攻適性型】
学部（学科/専攻）	文学部（フランス語文学文化専攻）
科目	専攻（プログラム）別試験

※本件についての質問・照会には、個別に回答することはいたしません。

※公開する内容については、別解がある場合があります。

※①試験問題、②解答又は解答例、③出題の意図の要素を含むものとして「評価の視点」を公表します。

【評価の視点】

視覚資料を用いた演習形式のディスカッションを通じて、受験者の以下の能力や姿勢を確かめる。

1. 美術作品への積極的な関心、能動的に観察し、考察する力
2. 美術史的な解釈を理解する感性と姿勢
3. 積極的に議論に参加する姿勢
4. 発言の適切さ、表現力、および他者の意見を理解する姿勢と能力

中央大学 2026 年度特別入試 【評価の視点】

試験方式	自己推薦入試【外国語型】
学部（学科/専攻）	文学部（中国言語文化専攻）
科目	面接

※本件についての質問・照会には、個別に回答することはいたしません。

※公開する内容については、別解がある場合があります。

※①試験問題、②解答又は解答例、③出題の意図の要素を含むものとして「評価の視点」を公表します。

【評価の視点】

受験生に対して、どのような学びの経験を積んできたかを問い、受験生の外国語運用能力を評価すると同時に、日頃の学習態度の様子、学習意欲の強さなどを評価する。

また、受験生に対して、当専攻で何を学ぶのか、なぜ当専攻で学ぶのか、当専攻での学びが自身の人生設計にどのように結び付くのかを問い、受験生が自己の学びと将来設計について明確な目的や目標を持っているかどうか、当専攻のカリキュラムとの親和性を評価する。

中央大学 2026 年度特別入試 【解答・解答例】

試験方式	自己推薦入試【外国語型・専攻適性型共通】
学部（学科/専攻）	文学部（日本史学専攻）
科目	専攻（プログラム）別試験

※本件についての質問・照会には、個別に回答することはいたしません。

※公開する解答・解答例には、別解がある場合があります。

【解答・解答例】

問一 一つ、二十箇年以後の訴訟の事

右、式目の如くんば、当知行の後、二十年を過ぐれば、右大将家の例に任せ、理非を論ぜず、改替するに能わず、しかるにあるいは謀書を構え押領の由これを訴え、あるいは御下文を掠め給わり知行す、自今以後、文証紙繆有りと雖も、式目の趣を守り、二十箇年を過ぐれば、理非を顧みず、知行の年紀に就き、御成敗有るべし、

嘉禎四年九月九日評定

問二 一つ、二十年以後の訴訟について

右について、御成敗式目の通りであれば、土地を現実に支配した後、二十年を過ぎたら、源頼朝の先例に従い、正当性の有無にかかわらず、その土地支配者をかえることはできない。しかし、偽造文書を作って土地を無理やり奪ったということを訴えたり、幕府からの下文をごまかしてもらいうけ土地を支配したりすることがある。今後は、証拠に誤りがあっても、御成敗式目の趣旨を守り、二十年を過ぎたら、正当性の有無を考慮せず、土地を支配している年数によって、幕府は裁決を下すようにする。

嘉禎四年九月九日評定

問三 土地を現実に支配して二十年を過ぎたら、その土地支配者をかえることはできない。

問四 源頼朝（以来）の先例。

問五 偽造文書を作って土地を無理やり奪ったり、幕府からの下文をごまかしてもらいうけ土地を支配するなど、土地支配をめぐるトラブルが発生していた。

中央大学 2026 年度特別入試 【評価の視点】

試験方式	自己推薦入試【外国語型・専攻適性型共通】
学部（学科/専攻）	文学部（日本史学専攻）
科目	専攻（プログラム）別試験

※本件についての質問・照会には、個別に回答することはいたしません。

※公開する内容については、別解がある場合があります。

※①試験問題、②解答又は解答例、③出題の意図の要素を含むものとして「評価の視点」を公表します。

【評価の視点】

評価にあたっては、講義の理解が的確か、講義内容を反映しているか、資料読解が正確か、資料にもとづいた解答になっているか、解答文が論理的・客観的で適切か等の視点から評価する。

中央大学 2026 年度特別入試 【評価の視点】

試験方式	自己推薦入学試験【外国語型・専攻適性型共通】
学部（学科/専攻）	文学部（日本史学専攻）
科目	面接

※本件についての質問・照会には、個別に回答することはいたしません。

※公開する内容については、別解がある場合があります。

※①試験問題、②解答又は解答例、③出題の意図の要素を含むものとして「評価の視点」を公表します。

【評価の視点】

評価にあたっては、提出された書類を見ることで論理的に文章を書く力があるかを確認すると同時に、日本史学・日本考古学を積極的に学ぶ強い意欲を持っているか、大学での学びに向けてどのような準備をしてきたか、大学で学ぶために必要となる日本史に関する基礎的な知識を十分持っているか等の視点から評価する。

中央大学 2026 年度特別入試 【評価の視点】

試験方式	自己推薦入試【外国語型】
学部（学科/専攻）	文学部（東洋史学専攻）
科目	面接

※本件についての質問・照会には、個別に回答することはいたしません。

※公開する内容については、別解がある場合があります。

※①試験問題、②解答又は解答例、③出題の意図の要素を含むものとして「評価の視点」を公表します。

【評価の視点】

評価にあたっては、質疑に対する応答にもとづき、知識の量や確かさ、論理性、表現の適切性等を評価する。

中央大学 2026 年度特別入試 【評価の視点】

試験方式	自己推薦入試【外国語型】
学部（学科/専攻）	文学部（西洋史学専攻）
科目	面接

※本件についての質問・照会には、個別に回答することはいたしません。

※公開する内容については、別解がある場合があります。

※①試験問題、②解答又は解答例、③出題の意図の要素を含むものとして「評価の視点」を公表します。

【評価の視点】

評価にあたっては、なぜ西洋史学を学びたいのか、大学で具体的に何を学びたいのか、現時点までに何をどれくらい準備してきたのか等の質問について、適切な受け答えができるかどうか注目します。

中央大学 2026 年度特別入試 【解答・解答例】

学部・試験方式	文学部・自己推薦入試
学部（学科/専攻）	文学部（哲学専攻）
科目	哲学専攻

※本件についての質問・照会には、個別に回答することはいたしません。

※公開する解答・解答例には、別解がある場合があります。

【解答・解答例】

1. 下線部 (1) の内容を日本語で記述しなさい。(配点 10 点)

(解答)

朝起きて鏡を見てみたところ、全く知らない顔になっており、目覚めようと何をしても、どれだけ鏡を変えてみても、結果は同じであったという経験。

2. 下線部 (2) を日本語に訳しなさい。(配点 15 点)

(解答)

自己をコンピュータにアップロードすることで我々が身体的な形態を取らなくても存続できるようになる方法を、研究している研究者もいる。

3. 下線部 (3) のように述べられている理由を説明しなさい。(配点 15 点)

(解答)

「体の入れ替え」についての物語はたくさんあるし、幽体離脱や臨死体験が何度も報告されるように、数千年もの宗教やスピリチュアルな伝統によると我々は生物的な死を乗り越えられると言われているし、また自己をコンピュータにアップロードしようとする研究者までいるので。

4. 下線部 (4) を日本語に訳しなさい。(配点 15 点)

(解答)

そして、考えたり感じたり物事を信じたりする自己に我々は遭遇するときには、そうした思考、感覚、信念を有する、同様の基体ないし基礎的な「何か」がなければならない。

5. 最後の段落では、ここでのテーマに対する相対する 2 つのアプローチが対比されている。それぞれのポイントを説明しなさい。(配点 15 点)

(解答)

自己とは何か、を考えるにあたって、1 つ目のアプローチでは主観性や心理的属性を重視して、身体とは別個の魂なるものを考える。もう 1 つのアプローチは、そうした神秘的な非物質的なものなど認めず、神経科学をはじめとする科学的手法で心を探求すべき、と考える。

6. あなたは、この文章が扱うテーマを論じるうえで、上記の2つのアプローチのうち、どちらを採用したいと考えるか。400字程度で論じなさい。(配点30点)

解答略

中央大学 2026 年度特別入試 【評価の視点】

試験方式	自己推薦入試【外国語型・専攻適性型共通】
学部（学科/専攻）	文学部（哲学専攻）
科目	専攻（プログラム）別試験

※本件についての質問・照会には、個別に回答することはいたしません。

※公開する内容については、別解がある場合があります。

※①試験問題、②解答又は解答例、③出題の意図の要素を含むものとして「評価の視点」を公表します。

【評価の視点】

この問題は、哲学の中でも、形而上学という分野での「自己」を扱っている。大学入学後に読むことになる近いレベルの英語の哲学書を正確に読むことができるか、そして正確な理解にもとづき自分の意見を論理的に展開できるか、を測るのが評価の視点となる。

問題は合計6つであるが、1. から5. までは、英語の哲学書を正確に読むことができるかが評価の視点となる。6. は本文を踏まえて自分の考えを論理的に論述できるかが評価の視点となる。

中央大学 2026 年度特別入試 【評価の視点】

試験方式	自己推薦入試【外国語型・専攻適性型共通】
学部（学科/専攻）	文学部（哲学専攻）
科目	面接

※本件についての質問・照会には、個別に回答することはいたしません。

※公開する内容については、別解がある場合があります。

※①試験問題、②解答又は解答例、③出題の意図の要素を含むものとして「評価の視点」を公表します。

【評価の視点】

学修に対する目的意識、主体性、思考力および人物的適性を適切に評価し、本学部のアドミッション・ポリシーと以下の本専攻が求める評価基準に適合する学生を選抜することを目的とする。

①学修目的および志望動機の妥当性

受験生が本専攻の教育、教育内容を理解したうえで、本専攻を志望するに至った動機と入学後の学修計画が明確で合理的であるかを評価する。

②主体性・多様な経験の活用

高等学校段階までの学習活動、課外活動その他の経験を通じて養われた主体性が、大学における学修にどのように活かされるかについて、明確に説明できているかを評価する。

③思考力・判断力・表現力

哲学を主たる学びとする学生に相応しく、自らの考えを論理的に適切に表現する力を有しているか。また一つのテーマを深く掘り下げた説明ができているかを評価する。

④学修態度および人物的適性

大学における学修を遂行するうえで必要な真摯さ、継続性、他の学生との協働性を備えているかを確認し、本専攻の教育環境に適合する人物であるかを総合的に判断する。

⑤書類審査との整合性

志望理由書、調査書、活動報告書等の提出書類の内容と面接における発言との整合性を確認し、書類上の評価の客観性および妥当性を確認する。

なお面接は、特定の知識や結論の正誤を問うものではなく、哲学という学問分野に対して、4年間を通じて粘り強く真摯に学ぼうとする姿勢や思考を確認することを主眼とし、複数の教員を面接官として公正かつ多面的・総合的に評価を行う。また受験生の多様な背景に配慮し、不利益が生じないよう適切な質問を行うことに努める。

中央大学 2026 年度特別入試 【評価の視点】

試験方式	自己推薦入試【外国語型・専攻適性型共通】
学部（学科/専攻）	文学部（社会学専攻）
科目	グループワーク

※本件についての質問・照会には、個別に回答することはいたしません。

※公開する内容については、別解がある場合があります。

※①試験問題、②解答又は解答例、③出題の意図の要素を含むものとして「評価の視点」を公表します。

【評価の視点】

評価にあたっては、現代社会の諸問題に対する関心と知識、および自身の経験に基づいて望ましい社会のあり方を考えることができるかに焦点をあてる。加えて、それを論理的かつ適切に表現することができるか、グループの議論に積極的な貢献できるかなどの観点から評価する。

中央大学 2026 年度特別入試 【評価の視点】

試験方式	自己推薦入試
学部（学科/専攻）	文学部 社会学専攻
科目	専攻(プログラム)別試験（社会学専攻・講義理解力試験）

※本件についての質問・照会には、個別に回答することはいたしません。

※公開する内容については、別解がある場合があります。

※①試験問題、②解答又は解答例、③出題の意図の要素を含むものとして「評価の視点」を公表します。

【問題】

以下の3つの設問全てに解答してください。

※それぞれの設問への解答の冒頭に必ず「設問1」「設問2」「設問3」と設問番号を書いてください。

設問1 講義をふりかえって、社会学的な社会調査の方法のひとつである「フィールドワーク」がどのように説明されていたか、まとめてください。

設問2 講義をふりかえって、「実際のフィールドワークにおける観察と考察とそこからの理解」について、あなたが観察・考察・理解したことを述べてください。その際に、スライドを〈みて〉、話を〈きいて〉、記憶・記録にとどめた具体的事例をあげながら説明してください。

設問3 ①あなたはこれまで現代社会のどのような問題に気づいたのか。②その問題の根本は何であるのか。③その問題の解決にむけて、フィールドワークを生かすとしたら、あなたはどのようにしていくのかを述べてください。

【評価の視点】

社会学の講義を受けたうえで、限られた時間内に正確に理解する能力、および自らの考えを的確に表現する能力を発揮したかを評価している。

設問1 講義の内容について、社会学的な社会調査の方法のひとつである「フィールドワーク」とは何かを理解し、的確に整理することを求めている。基礎的な理解力があるかを評価している。

設問2 講義の内容について、フィールドワークの実際を理解したうえで、具体例を挙げつつ、観察・考察・理解したことを、批判的思考力を通じて整理する能力を評価している。

設問3 社会問題の具体例を挙げて、批判的思考力を通じて整理することに加えて、そうした問題に対して解決の道筋を探求するための発想力・構成力・表現力を問う、総合的な論理的思考力を評価している。

中央大学 2026 年度特別入試 【評価の視点】

試験方式	自己推薦入試【外国語型・専攻適性型共通】
学部（学科/専攻）	文学部（社会学専攻）
科目	面接

※本件についての質問・照会には、個別に回答することはいたしません。

※公開する内容については、別解がある場合があります。

※①試験問題、②解答又は解答例、③出題の意図の要素を含むものとして「評価の視点」を公表します。

【評価の視点】

社会学専攻の自己推薦入試は、本専攻において社会学を学びたいという強い意欲をもつ学生を選抜するべく、対話形式の面接にて、社会学や社会問題への関心やこれまでの取り組み等を問うことにより、本専攻において社会学を学ぶ主体的意欲と幅広い素養があるかを確認する。

評価にあたっては、①本専攻の学生として必要とされる社会学や社会問題に関する基礎的知識と問題関心、②社会学や社会問題に対する論理的思考力および多角的検討能力、③プレゼンテーションおよびコミュニケーション能力、④受験生の入学意欲やこれまでの取り組み、これからの将来設計を含む志望動機等を中心に評価する。

中央大学 2026 年度特別入試 【評価の視点】

試験方式	自己推薦入学試験【外国語型】
学部（学科/専攻）	文学部（社会情報学専攻）
科目	面接

※本件についての質問・照会には、個別に回答することはいたしません。

※公開する内容については、別解がある場合があります。

※①試験問題、②解答又は解答例、③出題の意図の要素を含むものとして「評価の視点」を公表します。

【評価の視点】

面接の意図やねらいとしては、本専攻への志望動機を中心としながら、将来の展望や入学後の研究テーマ、それに関して、これまでの生活の中で取り組んできたことや興味関心などを尋ねつつ、これらの点について、自分の考えで主体的に回答できるかどうか、また円滑にコミュニケーションを遂行する力を有しているかどうか、といった点を確認することにある。

また評価のポイントとしては、事前の準備状況や熱意、主体性が重要である。事前準備と言っても、丸暗記してきただけの志望動機を読み上げるだけのような回答は望ましくなく、むしろ本人が主体的に熱意をもって、将来の進路や入学後の研究テーマを考えた上で、いかに本学を選択するに至ったかを説得的に語りうるかどうか、が重要である。特に、自己推薦入試の場合は、外国語において秀でた能力を有しているだけでなく、入学後に他の学生にとってもよい影響を及ぼしうるような、個性的なパーソナリティや体験を有していることも重視されよう。

中央大学 2026 年度特別入試 【評価の視点】

試験方式	自己推薦入試【外国語型】
学部（学科/専攻）	文学部（教育学専攻）
科目	面接

※本件についての質問・照会には、個別に回答することはいたしません。

※公開する内容については、別解がある場合があります。

※①試験問題、②解答又は解答例、③出題の意図の要素を含むものとして「評価の視点」を公表します。

【評価の視点】

個別面接を実施した。

多様な学生の入学を求める観点に基づき、本専攻への志望動機、大学生活で重点を置きたい学習内容やその他の活動等、卒業後の進路の見通し等に対する応答から、受験生の意欲や適性、資質能力を確認するのが面接の目的である。

やりとりの中で、「教育」に対する問題関心とそれに対する理解、論理的思考力や多角的な視点からの分析能力、プレゼンテーションおよびコミュニケーション能力について、基礎的力量が備わっているかを主要な評価の視点としている。

面接者の質問に対して、的確かつ論理的、具体的に応答できているか、積極的に理解してもらえるように応答しているかなどに着目して評価を行っている。

中央大学 2026 年度特別入試 【解答・解答例】

試験方式	自己推薦入試【外国語型・専攻適性型共通】
学部（学科/専攻）	文学部（心理学専攻）
科目	専攻（プログラム）別試験

※本件についての質問・照会には、個別に回答することはいたしません。

※公開する解答・解答例には、別解がある場合があります。

【解答・解答例】

【設問 1】

エリクソンの発達段階論における「同一性」の確立は、思春期の最重要課題である。これには失敗を恐れない自己探索が必須であり、その挑戦を支える心理的土台こそが心理的安全性である。弱さを見せたり失敗したりしても、それが非難の対象とならず成長の糧にできるような安全感を得られる環境が、困難を乗り越える力、すなわちレジリエンスを育てていく。

しかし、心理的安全性が保たれる環境を作るためには二つの大きな課題が存在する。第一に、心理的安全性を単なる「居心地のよさ」や規律なき放任と混同する危険性である。真の安全性は、自由な挑戦と他者への尊重を両立させる明確な規範と境界線によって支えられる。第二に、安全の尺度が全生徒に共通ではないという点だ。いわゆるマイノリティ等の生徒が疎外感や孤立感を抱かぬよう、画一的対応ではなく、一人ひとりの背景や特徴を理解しながら、個別的で細やかな配慮が不可欠である。(389 字)

(設問 2、3 は省略)

中央大学 2026 年度特別入試 【評価の視点】

試験方式	自己推薦入試【外国語型・専攻適性型共通】
学部（学科/専攻）	文学部（心理学専攻）
科目	専攻（プログラム）別試験

※本件についての質問・照会には、個別に回答することはいたしません。

※公開する内容については、別解がある場合があります。

※①試験問題、②解答又は解答例、③出題の意図の要素を含むものとして「評価の視点」を公表します。

【評価の視点】

【設問 1】

- 心理的安全性とエリクソンの思春期の発達課題（同一性形成）を正確に理解し、関連づけて説明できているか。
- 心理的安全性が自己探索やレジリエンスに果たす役割を論理的に説明できているか。
- 資料に基づいて適切な課題を2点挙げ、考察しているか。
- 論旨が明確で、字数内に構造的にまとめられているか。

【設問 2】

- 体験（または架空の体験）が具体的に記述され、心理的安全性の概念と結びついているか。
- 自身の学びや気づきが、単なる感想でなく心理学的視点から省察されているか。
- 他者への配慮、支援の限界、グループ（集団）への適切な理解が示されているか。
- 目的・方法・効果の関係が論理的に構成されているか。

【設問 3】

- コンパッションの意味と心理的安全性との関係を正確に説明できているか。
- 失敗や困難への向き合い方を、レジリエンスや発達の観点から統合的に論じているか。
- 共感疲労や自己への葛藤といった困難を現実的に捉え、対処の視点を示しているか。
- 抽象論に終わらず、資料に基づく多面的で筋道だった考察になっているか。

中央大学 2026 年度特別入試 【評価の視点】

試験方式	自己推薦入試【外国語型・専攻適性型共通】
学部（学科/専攻）	文学部（心理学専攻）
科目	面接

※本件についての質問・照会には、個別に回答することはいたしません。

※公開する内容については、別解がある場合があります。

※①試験問題、②解答又は解答例、③出題の意図の要素を含むものとして「評価の視点」を公表します。

【評価の視点】

面接試験は、6人1組での集団面接として実施し、「ゲノム編集」についてのディスカッションを行っていただきました。ゲノム編集に対する賛否はいずれでもよく、ディスカッションの中での行動、説明力、理解力、協調性といった視点で評価しました。

中央大学 2026 年度特別入試 【評価の視点】

試験方式	自己推薦入試【外国語型・専攻適性型共通】
学部（学科/専攻）	文学部（学びのパスポートプログラム）
科目	面接

※本件についての質問・照会には、個別に回答することはいたしません。

※公開する内容については、別解がある場合があります。

※①試験問題、②解答又は解答例、③出題の意図の要素を含むものとして「評価の視点」を公表します。

【評価の視点】

単なる知識の暗記ではなく、現代社会の諸問題に対する深い洞察力、および他者への尊重に基づく対話能力を持つ学生を選抜することを目的とした。

ジェンダー、障害、海外ルーツ、格差という 4 つのキーワードから社会問題を選択させることで、受験生が日常的に社会に向けた「まなざし」を持ち、現実の問題に関心を寄せているかを確認した。また、なぜその問題を選んだのか、どのような経緯で知ったのかを問うことで、受験生の問題意識の深さと真正性を評価した。

評価では特に、批判的思考能力と論理的思考能力を重視した。単に情報を伝えるだけでなく、問題の本質を捉え、自分なりの意見を論理的に構築できるかが問われた。また、メモは可能でも原稿の読み上げを減点対象としたのは、きちんと「自分の言葉で語る」という表現力も評価の対象とするためであった。

もう一つ重要なのが、プレゼンテーション後の受験生間の質疑応答の部分である。他者の発表を注意深く聴き、建設的な質問を投げかける姿勢は、傾聴力と対話スキルの証ともいえる。この相互作用を通じて、多様な視点を尊重しながら協働的に学びを深められる資質を見極める目的で実施されたものである。

以上のように、本プログラムの自己推薦入試では、学問探究への意欲と大学教育を受けるための基礎学力を重視するとともに、社会問題への感度と対話を通じた学びの姿勢を兼ね備えた学生を求めている。